

評価結果報告書

地域密着型サービスの外部評価項目構成

	項目数
I. 理念に基づく運営	11
1. 理念の共有	2
2. 地域との支えあい	1
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	3
4. 理念を実践するための体制	3
5. 人材の育成と支援	2
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	2
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	1
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	1
III. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	6
1. 一人ひとりの把握	1
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	2
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	2
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	11
1. その人らしい暮らしの支援	9
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	2
合計	30

事業所番号	3970500249
法人名	有限会社 三愛商事
事業所名	グループホーム すずらん
訪問調査日	平成 19年 10月 9日
評価確定日	平成 20年 1月 18日
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会

○項目番号について
 外部評価は30項目です。
 「外部」の列にある項目番号は、外部評価の通し番号です。
 「自己」の列にある項目番号は、自己評価に該当する番号です。参考にしてください。
 番号に網掛けのある項目は、地域密着型サービスを実施する上で重要と思われる重点項目です。この項目は、概要表の「重点項目の取り組み状況」欄に実施状況を集約して記載しています。

○記入方法
 [取り組みの事実]
 ヒアリングや観察などを通して確認できた事実を客観的に記入しています。
 [取り組みを期待したい項目]
 確認された事実から、今後、さらに工夫や改善に向けた取り組みを期待したい項目に○をつけています。
 [取り組みを期待したい内容]
 「取り組みを期待したい項目」で○をつけた項目について、具体的な改善課題や取り組みが期待される内容を記入しています。

○用語の説明
 家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
 家族 = 家族に限定しています。
 運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。
 職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みません。
 チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

1. 評価結果概要表

作成日 平成19年10月22日

【評価実施概要】

事業所番号	3970500249		
法人名	有限会社 三愛商事		
事業所名	グループホーム すずらん		
所在地 (電話番号)	土佐市高岡町甲1684		(電話)088-854-1520
評価機関名	社会福祉法人 高知県社会福祉協議会		
所在地	高知市朝倉戊375-1高知県立ふくし交流プラザ内		
訪問調査日	平成19年10月9日	評価確定日	平成20年1月18日

【情報提供票より】(19年9月26日事業所記入)

(1)組織概要

開設年月日	平成 15 年 9 月 1 日		
ユニット数	1 ユニット	利用定員数計	9 人
職員数	9 人	常勤 4 人, 非常勤 5 人, 常勤換算	6

(2)建物概要

建物形態	併設/単独○	新築/改築○
建物構造	木造 造り	
	平屋 建ての	階 ~ 1 階部分

(3)利用料金等(介護保険自己負担分を除く)

家賃(平均月額)	30,000 円	その他の経費(月額)	16,000 円
敷 金	有(円) ○ 無		
保証金の有無 (入居一時金含む)	有(円) ○ 無	有りの場合 償却の有無	有/無
食材料費	朝食	円	昼食 円
	夕食	円	おやつ 円
	または1日当たり 1,000 円		

(4)利用者の概要(10月9日現在)

利用者人数	9 名	男性 2 名	女性 7 名
要介護1	5 名	要介護2	3 名
要介護3	0 名	要介護4	0 名
要介護5	0 名	要支援2	1 名
年齢	平均 83.4 歳	最低 72 歳	最高 92 歳

(5)協力医療機関

協力医療機関名	井上病院・塩田歯科
---------	-----------

【外部評価で確認されたこの事業所の特徴】

1ユニットの事業所で食堂兼リビングなど比較的にこじんまりとした佇まいである。共用空間には職員の日頃の配慮から清潔感があり、花や壁などの装飾も適度で家庭的で温かみのある雰囲気の中で利用者の皆さん共々和やかに暮らしている。また居室もその人の安らげる居場所になるよう家族の協力や職員の工夫が施されている。一方様々な生活支援の中で事業所が公用車を持たず買い物や折々の外出に職員の自家用車を使用していたり、医療法人の車が空いている時のみ利用している状況では自発的な外出、利用者の要望により臨機な外出の実施が困難な状況である。

【重点項目への取り組み状況】

重点項目①	前回評価での主な改善課題とその後の取り組み、改善状況(関連項目:外部4) 前回評価の改善点について、計画シートを作成し3点ともに改善のための努力・取り組みが見られる。残されている改善中の項目についても今後の課題として検証しており、より一層の取り組みが期待できる。
	今回の自己評価に対する取り組み状況(関連項目:外部4) 今回の自己評価については職員、管理者の協働作業としてしっかりと取り組んでいる。
重点項目②	運営推進会議の主な討議内容及びそれを活かした取り組み(関連項目:外部4, 5, 6) 事業所の運営についての概要説明(行事計画・報告、外部評価結果の報告など含め)を主として委員等出席者との意見交換を行う(昼食時和やかな雰囲気の中で)が特に意見はない。
重点項目③	家族の意見、苦情、不安への対応方法・運営への反映(関連項目:外部7, 8) 昨年度は家族会も開催していたが意見が出しにくいのではとの事業所側の配慮で個別の面談方式に変更した。開所以来特に苦情などは無い。家族の面会時をはじめ在宅への訪問や通信、電話などで希望など聞いている。個別課題がでた場合は介護計画等に反映させている。
重点項目④	日常生活における地域との連携(関連項目:外部3) 前回は改善点だったが地域の自治会(町内会)がないため地域の情報なども得られにくく地域との連携は希薄である。ただ事業所では散歩、近所の店での買い物の際には積極的に挨拶をするなど、現在では住民から声を掛けてもらうこともあり、地域の一員としての思いを持ち取り組んでいる。店頭において利用者の手作りの雑巾を住民が持ち帰り利用し喜ばれたり、近くの小学校との交流もあり、今後も連携のための積極的な取り組みが期待できる。

2. 評価結果（詳細）

（ 部分は重点項目です ）

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
I. 理念に基づく運営					
1. 理念と共有					
1	1	<input type="checkbox"/> 地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	<input checked="" type="checkbox"/> 事業所独自の理念がある。 [] <input type="checkbox"/> これまでの理念に加え、地域密着型サービスとしての役割を目指した内容である [これまでの文言に「住み慣れた地域の中で…」と追加されてはいるが地域との関連性については謳われていない。]	○	職員は認識しているが、これまでの家庭的な環境の下でその人らしく暮せる支援に加え、地域密着型サービスには地域の一員として安心した暮らしを継続するための事業所の役割があり、地域住民との交流が大切であり事業所内の暮らしに留まらない文言を加えることを検討されたい。
2	2	<input type="checkbox"/> 理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 理念について職員間で話し合いの機会をもち、意識づけがされている。 [毎月1回の職員会で確認している。理念に基づいた支援ができたか反省したり評価をするなど、理念を基本に取り組んでいる姿勢が窺われる。] <input checked="" type="checkbox"/> 日々のサービスの提供場面(言葉かけ、態度、記録等)において、理念が反映されている。 [言動の中で「労りとやさしさ、ゆったりと安心できる暮らし…」を職員は心がけ、例えば不穏時など落ち着きを失わず対応している。]		
2. 地域との支えあい					
3	5	<input type="checkbox"/> 地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	<input type="checkbox"/> 地域住民の一員として、町会、自治会等に参加している。 [地区には自治会が無い。] <input checked="" type="checkbox"/> リサイクル活動や行事など地域活動の情報を集め、それらに参加するなど、接点を持つ努力をしている。 [ごみの収集はダンボール以外は母体の病院が行っている。自治会がないため、地域活動の情報が入りにくい。各利用者の出身地の敬老会には出席している。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○ 印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
3. 理念を実践するための制度の理解と活用					
4	7	○評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> サービス評価を実施するにあたり、評価の意義とねらいについて運営者、管理者、職員で話し合い、全員で自己評価に取り組んでいる。 〔管理者はじめ職員は理解しており、今回の自己評価についても話し合いを持ち全員で取り組んでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で見出された課題について改善計画を立て、その実施に取り組んでいる。 〔課題については改善シートを作成し取り組んでいる。目標、内容、評価の手順で実践する中で新たに具体的な課題を見出すなど全員での取り組みができています。〕		
5	8	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	<input checked="" type="checkbox"/> 会議では、事業所からの報告とともに参加メンバーから質問、意見、要望を受け、双方向的な会議となるよう配慮している。 〔事業所の運営についての報告など、昼食を挟み意見や要望が出やすい雰囲気の中で進めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 評価で明らかになった課題について会議で報告し、改善に向けて取り組んでいる。 〔 〕		
6	9	○市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 市町村職員の研修場所として事業所を活用してもらったり、また市町村担当窓口に対して、事業所の実情やケアサービスの取り組みを折に触れて伝えるなど交流を図っている。 〔行政窓口に事業所のパンフレットを置いており、それを足がかりに問い合わせもある。行政から万歩計の貸し出しを受けて散歩時に利用者に装着し健康管理に役立てている。また行政主催のいきいき体操の指導を受ける予定など交流の機会をもっている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制					
7	14	事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 家族等の来訪時には声をかけ、利用者の状況や家族のことについて話し合っている。 [来訪時には近況の報告や話し合いの時間を大切にしている。個別の記録にも目を通し時間を過ごす家族もいる。] <input checked="" type="checkbox"/> 利用者の事業所での暮らしぶりやエピソードなど、手紙や写真等で伝えている。 [「ホーム便り」に個別に手紙を添えたりスナップ写真を同封することもあり、時々絵手紙を送るなどの方法で折々の暮らしぶりを報告している。] <input checked="" type="checkbox"/> 心身の状況について、何らかの変化や問題が起きた時に必ず報告されている。 [変化の状況に応じて電話連絡をしたり、また受診後の報告など、必ず連絡をしている。] <input checked="" type="checkbox"/> 金銭について使途の確認や金銭出納帳等を明示し、その都度あるいは定期的に報告している。 [毎月請求書を送付する際に出納帳のコピーとその月の領収書(レシートなど)を同封している。また来訪時には確認印を取っている。]		
8	15	家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	<input type="checkbox"/> 家族会や家族同士の集まりの場で意見を出せるような仕組みを作っている。 [家族会は中止しており、家族同士で意図的に顔を合わせる機会は少ない。開設以来意見、苦情は出ていない。] <input checked="" type="checkbox"/> 苦情への対応で終わりではなく、その苦情の発生要因を探り、課題を検討し、質の向上をめざす取り組みをしている。 [来訪時などに聞かれた意見は、管理者が対応し運営に反映すべき事項は職員で話し合いを持ち質の向上に役立てるなど取り組んでいる。]	○	家族会では職員に直接話しにくいこともあるのではという配慮から、各家族との面談形式に変更したが、家族同士と職員が顔を合わせ自然発生的に意見、要望などを話し合える機会は事業所の運営に大切な事であり、家族が主体となった家族会の設立と運営支援を望む。
9	18	○職員の異動等による影響への配慮 運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者にとって馴染みの職員が継続的に支える体制となっている。 [職員の交代は少なく関連の事業所との配置転換もないため、馴染みの管理者や職員が継続して支援できている。] <input checked="" type="checkbox"/> 職員が代わる時は、引き継ぎの期間を十分に取り、スムーズに移行できるように配慮している。 [退職者と就職者とが1ヶ月程度の引継ぎ期間を取り比較的スムーズに移行できている。]		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援					
10	19	○職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	<input checked="" type="checkbox"/> 日常的に学ぶことを推進し、パート職員にもチームの一員として、研修・会議等参加の機会がある。 〔研修の情報も入りパート職員を含め、希望する研修を受けることができている。管理者を指導者とし現場での学びも出来ている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全職員が共有できるよう、研修内容を報告する機会を作っている。 〔研修報告書を作成し職員会で報告するほか、申し送りの時間や職員が揃っているときなどには研修内容について伝えている。〕		
11	20	○同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 県内、全国組織の同業者ネットワークに加入し、サービスや職員の質向上につなげている。 〔全国グループホーム協会、グループホーム・宅老所連絡会に加入し、職員の志気や質向上につなげている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 管理者・職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、職員のサービスや質向上に努めている。 〔地域の事業所との交流をもち情報の交換などを行い、職員のサービスや質の向上に反映するよう努めている。〕		
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応					
12	26	○馴染みながらのサービス利用 本人が安心し、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	<input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者の入居に際し、その者の心身の状況、生活歴、病歴等の把握に努めている。 〔本人、家族、その他関係機関から入手している。不十分な点がある場合は職員が交代で再度訪問し(在宅、施設など)把握している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族に事業所の見学や体験をしてもらっている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入居希望者には、管理者と職員が面接を行っている。 〔管理者、職員、ケアマネで面接を行っている。施設で面接の際には家族に事前に同席してもらうようにしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援					
13	27	<p>○本人と共に過ごし支えあう関係</p> <p>職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながらか喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>日々の生活場面の中で、利用者を支援されるのみの立場にはおいていない。 〔フロアで懐かしい歌を職員も歌詞カードを見ながら一緒に歌ったり、食事の時の会話からも共に暮らしている光景があり支援されるだけの立場にはおいていない。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>支援する側、される側という意識は持たず、お互いが協働しながら和やかな生活ができるような場面作りがある。 〔洗濯や食事作りが出来る利用者が職員と一緒に取り掛かったりと、利用者と共に和やかな雰囲気の中で過ごしている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>利用者から生活の技や生活文化の大事さを教えてもらう場面がある。 〔裁縫の得意な利用者からカーテンを縫う時「まつり縫い」の縫い方を教わったり、絵手紙のつくり方を教わるなど生活の知恵を伝授される場面がある。〕</p>		
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント					
1. 一人ひとりの把握					
14	33	<p>○思いや意向の把握</p> <p>一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの思い・暮らし方の希望・意向の把握に努めている。 〔「家を見たい、帰りたい」などの希望や意向などを伝えられる利用者が多い。そうした思いや意向を把握したうえで対応している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>意思疎通の困難な方には、ご家族や関係者から情報を得るようにしている。 〔難聴の方で意思疎通が困難な方も居られるが、ゆっくりと話を進めることで意思を伝えることができ、常日頃の会話や表情などから聞き取る努力もしている。〕</p>		
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し					
15	36	<p>○チームでつくる利用者本位の介護計画</p> <p>本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>本人やご家族等からの気づき、意見、要望等を反映した介護計画が作成されている。 〔面会時や在宅訪問時に現状報告を行い、希望や意見などを聞き介護計画を作成している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>アセスメントを含め職員全員で意見交換やモニタリング、カンファレンスを行っている。 〔介護計画はケアマネが作成している。その前後は全職員で意見を出し合い話し合っている。モニタリングは3ヵ月に1回行われカンファレンスには家族も出席されることがある。〕</p>		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
16	37	○現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	<input checked="" type="checkbox"/> 介護計画は、設定された期間ごとに見直しされている。 〔 〕 <input type="checkbox"/> 本人、家族の要望や状態に変化が生じた場合には、その都度見直しされている。 〔薬の変更時や状態に応じての見直しの必要性は理解しているが、その都度の見直しには結びついてない。〕 <input type="checkbox"/> ワンパターンの期間設定ではなく、本人の状態や計画内容に応じた個別の期間設定をしている。 〔 〕	○	介護計画は期間に柔軟性をもち状態の変化や家族の希望で見直したり、状況に応じた計画の変更や期間設定が必要である。そのことを理解しているが実行していないので全職員で話し合い検討することを望む。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援(事業所及び法人関連事業の多機能性の活用)					
17	39	○事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 医療処置を受けながら生活が継続できるように努めている。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 重度化した場合や終末期も事業所でケアを提供している。 〔入居時に家族には事業所で終末期ケアを提供できることを説明し同意書も用意している。〕 <input type="checkbox"/> 特別な外出、通院や送迎、外泊などの支援を行っている。 〔 〕	○	事業所専用の公用車がなく、本人や家族の希望による外出、外泊や通院の送迎も母体医療法人の車でおこなっている。このことがサービス提供に制限を与えており、今後改善されることを望む。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域支援との協働					
18	43	○かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> いままでのかかりつけ医や本人・家族等が希望する医療機関・医師に受診できる支援ができています。 〔入居するまでの病院で受診したりと、本人・家族の希望に沿った受診が出来る。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診や通院は、本人やご家族の希望に応じて対応している。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 受診結果に関する情報の共有ができています。 〔家族同伴での受診の場合は帰所後に家族からの報告を受け、事業所対応の場合は電話などで報告をしている。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
19	47	○重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	<input checked="" type="checkbox"/> 終末期の対応方針を定め、家族・医師・看護師を交えて話し合いを行っている。 〔終末期の看取りの指針を定め話し合いも行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 本人や家族の意向を踏まえ、医師、職員が連携をとり、安心して納得した最期が迎えられるように取り組んでいる。 〔 〕		
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援					
1. その人らしい暮らしの支援					
(1)一人ひとりの尊重					
20	50	○プライバシーの確保の徹底 一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない	<input checked="" type="checkbox"/> 人前であからさまに介護したり、誘導の声かけをして、本人を傷つけてしまわないように、目立たずさりげない言葉かけや対応に配慮している。 〔特に排泄時の介護には気を配り、さりげない態度で接しており利用者の誇りやプライバシーを損ねない対応を徹底している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 他の家族や外来者に対して、職員が利用者のプライバシーに関する話を話さないことを徹底している。 〔利用者のプライバシーを他者に話したりしないことを全職員間で徹底している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 全ての職員が、個人情報保護法の理解に努め、徹底されている。 〔職員採用時には管理者などから個人情報保護の重要性を伝え、約束事として書面で確認を取るなど徹底している。〕		
21	52	○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの「その日」にしたいこと(買い物や散歩等)を把握し、それに応じて柔軟に支援している。 〔利用者から、その日の希望を聞き対応できることは柔軟に対応している。(例えば 外食やお茶を飲みにいきたいなど)〕 <input checked="" type="checkbox"/> 事業所の業務スケジュールに利用者の生活を合わせていない。 〔業務に合わせた対応はしていない。個人の思いを大切に優先するよう取り組んでいる。(入浴時間など)〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(2) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
22	54	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	<input checked="" type="checkbox"/> 献立づくりから調理、片付けに至るまで、食事に関する一連の流れを職員が一方的に進めるのではなく、利用者の意志や気持ちを大切に進めている。 〔食べたい物の聞き取り、下拵えや盛り付け、後片付けなど出来ることを和やかなコミュニケーションの中で行っている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 職員は食事介助に止まらず、利用者と職員が同じものを一緒に食べている。 〔 〕		
23	57	○入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 利用者のこれまでの生活習慣や希望にあわせて入浴できるよう、職員勤務体制等について工夫をしている。 〔入居前までの生活習慣はいろいろで、これまでは主に午前実施していたが、8月以降午後の時間帯に変更した。職員の体制も工夫している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 入浴を拒む人に対しては、言葉かけや対応の工夫、チームプレー等によって一人ひとりにあわせた入浴支援を行っている。 〔常に入浴時のコミュニケーションを大切に対応し、現在入浴を拒否する利用者はいないが、拒む利用者がある場合は最善の対応を検討する仕組みがある。〕		
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援					
24	59	○役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	<input checked="" type="checkbox"/> 何がその人の役割、楽しみごとになり得るかを把握している。 〔入居時の基本情報を基に、日頃のコミュニケーションの中で聞き取ったり、時には家族から新たな情報を得るなど把握に努めている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 食事作りや庭木の剪定など利用者の経験や知恵を発揮する場面を作っている。 〔食事作り、縫い物、紙縫り作り、新聞紙折りなどその人の生活歴や能力を引き出した役割や楽しみ事で日々を過ごす事が出来るよう支援している。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 一人ひとりの役割、楽しみごと等を作り出すため働きかけを行っている。 〔「してみたい」「やりたい」という希望が聞かれた時に対応できるように必要な物品を揃えたり、場面作りをして支援している。〕		

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取組んでいることも含む)
25	61	○日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさずに、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	<input checked="" type="checkbox"/> 近くへの散歩だけではなく、その人の馴染みの店や場所へ出かけている。 〔食材や買い物に出かけたり家族同伴で馴染みの美容院などに出かけたりしている。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 歩行困難なケースでも車や車椅子等を利用し、戸外へ出ることを積極的に行っている。 〔現在は、シルバーカーや手引き歩行で散歩などに積極的に出るよう取り組んでいる。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 日常的に散歩、買い物あるいはドライブ等に出かけている。 〔 〕		
(4)安心と安全を支える支援					
26	66	○鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	<input checked="" type="checkbox"/> 居室や日中玄関に鍵をかけていない。 〔 〕 <input checked="" type="checkbox"/> 利用者一人ひとりの外出の習慣や傾向を把握して対応している。 〔個別の把握は出来ている。現在は無断で外出する利用者はいない。〕 <input checked="" type="checkbox"/> 近所の人にも理解を求め、見守り、声かけや連絡をしてもらえる関係を築いている。 〔散歩の際などに挨拶を交わしているうちに職員や利用者とも顔なじみになり、協力が得られる関係ができています。〕		
27	71	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	<input type="checkbox"/> 事業所だけの訓練ではなく、地域住民の参加、協力を得ながら避難訓練等を定期的に実施している。 〔事業所内での防火訓練は実施しているが、避難訓練はなく地域の住民の参加による訓練もこれまで実施されていない。〕 <input type="checkbox"/> 避難路の確保(整理整頓)や消火器等の設備点検を定期的に行うとともに、非常用食料・備品を準備している。 〔ガスコンロ、水などを用意している。消火器などの設備点検のチェック表は医療法人の方で保管管理している。〕	○	特に高齢者の場合、災害時の避難誘導は生命を守る安全対策として最も重要なことである。パニック状態を招く災害時に職員が冷静に利用者を手際よく誘導できるかが問われる。また地域の住民の協力も得られる体制を日頃から整えておくことを検討し訓練への参加も呼びかけられることを期待する。なお非常用の食料等のチェックなどをもう一度検討されたい。

外部	自己	項目	取り組みの事実 (<input checked="" type="checkbox"/> 実施している内容・ <input type="checkbox"/> 実施していない内容)	(○印)	取り組みを期待したい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援					
28	77	<p>○栄養摂取や水分確保の支援</p> <p>食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの一日の栄養摂取総量や水分量を把握している。 〔一人ひとりの食事摂取量、水分摂取量ともに毎回チェックし把握している。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>一人ひとりの嗜好を把握し、献立に採り入れながら、栄養バランスにも配慮している。 〔1カ月の献立は利用者の好みを取り入れ職員が作成している。後から利用者の希望が出たときには随時変更する事もある。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>定期的に、栄養士や保健師等に専門的な観点からチェックしてもらっている。 〔 〕</p>		
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり					
(1) 居心地のよい環境づくり					
29	81	<p>○居心地のよい共用空間づくり</p> <p>共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>利用者にとって使いやすい配置や馴染みの物を採り入れた共用空間になっている。 〔共用空間(リビング、居間、食堂、廊下、玄関、台所)は広さはないが、ソファなど使い慣れたものを適所に配置し清潔感のある心地よい空間になっている。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>天井や壁面に掛けられた折り紙等の飾り付けが、家庭的な雰囲気壊していない。 〔壁には利用者の作品も数点飾られていたり、写真、絵画、時計、カレンダーなど落ち着いた雰囲気作りに配慮した装飾で居室入口の暖簾にも親しみを感じる。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>季節感のある装飾等に工夫するなど、季節感や五感の刺激にも配慮している。 〔食堂には季節の花が花瓶にきれいに飾られ、ワンフロアに設置されている台所からの音や煮炊きの匂いも五感を刺激している。〕</p>		
30	83	<p>○居心地よく過ごせる居室の配慮</p> <p>居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/>使い慣れた馴染みの物を傍に置くなど、本人や家族と相談しながら個別に工夫されている。 〔使い慣れた調度品(筆筒、椅子、ベッドなど)や仏壇、テレビ、時計など大切な物を多く持ち込み、居心地の良い居室づくりができています。〕</p> <p><input checked="" type="checkbox"/>家族の協力が得られない等の場合でも、本人の意向を確認しながら、その人らしく居心地のよい居室づくりに取り組まれている。 〔椅子や筆筒などを多くの利用者が持ち込まれているが、職員のアイデアで家族からの便りや写真などに装飾を凝らしたりいろいろと暖かい雰囲気作りに配慮が見られた。〕</p>		